

THE OLD POST

Member of the Associated Press.

ILLUSTRATED MONTHLY NEWSPAPER

Est. 1942

Sunday, April 22, 2012

Price 0d

神様、全宇宙を創造。

創世記の最初は「初めに、神が天と地を創造した。」で始まっています。これは、時間のない永遠に、神様が「初め」というスタートラインを引かれたことを教えてくれています。

そして、「神が」主語なのです。「私たちが、神様を使って」世界をどうにかする。」のではありません。神様が運転手、私たちの人生のハンドルを握っておられるのです。

そして神様が「創造」されました。ヨハネ1:1-3や、コロサイ1:16に書かれているようにです。

この「創造」というヘブル語「バーラー」は、人間の行為に関しては用いられない言葉です。つまり、神様が何かを、材料無しで造られる時にだけ出てくる言葉。私たち人間の起源がここにあるのですね。

日本人の起源を気にしておられる人がいらっしゃるかもしれません。興味深いことではありますが、もっと大きな視点で、私たちの起源が、神様による創造であることに心を留めると、私たちの世界の見方はさらに変わってきます。

え？科学的じゃない？いいえ、私たちが学校で習ってきた「歴史科学」こそ、非科学的なのです。（「実験科学」の分野は科学的ですが。）

ノーベル賞受賞者の益川教授も山中教授も、「『ヒトは猿から進化したのか、それとも神が造ったのか』と聞かれれば、日本人はなんとなく『猿から進化』という方を信じるが、それは何の根拠も無い。」と話しています、

世界的な進化論学者であった今西錦司名誉教授（京大）は、進化論の矛盾に気づき、「科学者廃業宣言」を新聞に載せ、科学でない進化論を教えてきた責任を取りました。また、村上和雄筑波大教授は創造者無しには遺伝子の説明は不可能と論じています。

創造論は真実であり、事実と相対するものではないのです。

創世記1:1は、創造主が、父親を知らない被造物であった私たちに、「私がお父さんなんだよ」「あなたは1個のタンバク質が『だまたま』人間に進化した無目的な存在じゃないんだよ。」と教えてくれる神様からの手紙なのです。

